

菊池農業高校SDGs研究班

竹資源を活用した持続可能な地域社会づくりを目指して

【取組み内容】

- 農・食・環境をテーマに竹を「資源」として活用
 - ・ N P O と連携して竹林問題の学習と整備活動
 - ・ 竹チップを段ボールコンポストの資材に活用し、生ゴミの堆肥化
 - ・ 竹の廃材を活用した、バイオ竹炭の製造。

○ 地域との連携

菊池市や J A 菊池と連携し、段ボールコンポストやバイオ竹炭の講習会の開催や普及。



評価項目ごとの取組みの特徴・ポイント

普遍性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先輩が令和2年度から活動が始め、今年度で6年目になる。 ・ 菊池公園の竹林整備活動を農業科1年生が毎年10月に行っている。
包摂性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年から菊池市SDGsフェスタで段ボールコンポスト講習会を実施 ・ JA菊池の女性部や地域の方と連携し、段ボールコンポストの普及中
協働性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 菊池市、JA菊池、地元NPO、竹箸メーカーと連携して活動している。 ・ 今年7月に熊本県林務振興課と連携し、竹資源ネットワークができた。
統合性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生ごみの削減と竹炭の製造と利用により13気候変動に具体的な対策を ・ 地域環境の向上や地域との連携により11、17の目標達成に結びつく
透明性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1日あたりの生ごみの処理量や生ごみ堆肥の施用効果が確認できた。 ・ 複数の活動報告の機会ですら専門家等から高い評価を受けている。

貢献するSDGsのゴール

13 気候変動に
具体的な対策を



11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナースHIPで
目標を達成しよう

